

2005年4月27日

### いすゞ、タイでの生産能力を増強

いすゞ自動車(以下いすゞ)は、タイにおける好調な販売に対応し、かつ中期経営計画に基づく生産台数増加を実現するため、ピックアップトラックの能力増強投資を行うこととした。

投資効率を最重視した「徹底したステップ型能力増強投資」を基本的な考え方とし、40億円規模にて、車両生産およびエンジン、トランスミッション等関連する生産事業も含めて着手、以後状況を逐次精査した上での追加投資を行うことにより、リスクを最小化した能力増強とする。

なお、2007年までの投資総額としては100億円規模を想定している。

具体的には、トラック総組立ラインを泰国いすゞサムロン工場から、現在ノックダウン輸出業務を行っているゲートウェイ工場へ移管し、その後の空きスペースを活用して、ピックアップトラックの生産能力を増強する。2004年のいすゞタイ国内販売台数は約15万台(内ピックアップトラック約14万台)であったが、2007年にはピックアップトラックのみで約20万台を供給できる体制とし、タイ国内での販売需要に応じていく。

またタイから世界各国へのピックアップトラック輸出に関しては、従来どおりGMタイランドへの生産委託で対応していく。2007年には完成車5万台を見込んでおり、ゲートウェイ工場のノックダウン輸出5万台、およびタイ国内向け完成車の20万台と合わせて、ピックアップトラック30万台の生産体制が整うこととなる。

いすゞは、タイの商用車販売で22年連続シェアNo.1を確保し、ピックアップトラックでも9年連続でシェアNo.1となっている。

以上

#### < 参考 >

会社名	泰国いすゞ自動車： Isuzu Motors Co., (Thailand) Ltd.
所在地	38 Kor., Moo9 Poochaosamingprai Road, Samrong-Tai, Phrapradaeng, Samptprakan 10130, Thailand
代表者	里見 俊一

資本金	85 億バーツ(約 220 億円)
株主	いすゞ：71%、 トリペッチいすゞ：27% 他：2%
事業内容	大型・小型商用車、ピックアップトラックの組立および車両、コンポ、部品輸出 卸販売

